

日本共産党 西宮市会議員

佐藤みち子

活動だより 2014年7月 NO.66



議員団控室 Tel.0798 - 35-3368 fax22-7815
自宅 高須町1丁目 1-7-5-206 Tel.42-2856

代表質問



6月23日、新市長の所信表明に対する代表質問が行われました。市議団を代表して私、佐藤みち子が①市長の政治姿勢にかかわって②西宮市立中央病院について③アサヒビール西宮工場跡地について④文教住宅都市「まちづくり基本条例」について⑤学校施設について⑥子どもの医療費助成は所得制限の撤廃を⑦保育所保育料引き下げについて、以上7項目について市長に質しました。

アサヒビール 西宮工場跡地 について

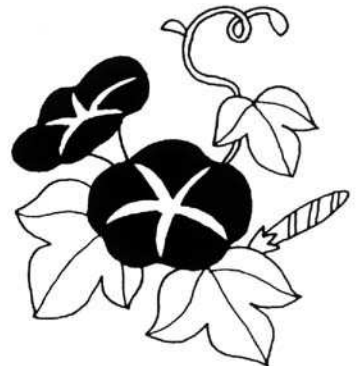
市長は、公共施設の移転整備を目的とした土地の所得は白紙に戻す。別の用途であっても、積極的に市が土地を取得することは考えていない」と述べました。

しかし、阪神淡路大震災後、工場が撤退した跡地等に無秩序にマンションが建設され、住環境の悪化や学校の教室不足等の問題が起きています。市は、民間が行うことになる跡地開発について、「事業者とガイドラインや地区計画を策定し実行性の高いルールを作り街づくりを進める」と言いますが、その保障はまったくありません。

基本協定が有効である間の議会審議を求める

6月30日の本会議で「アサヒ跡地の土地購入を求める」「基本協定が有効である間の議会審議を求める」2つの決議が議長、副議長を除く33名で共同提案し賛成多数で採択されました。

市長が議員時代に所属していた蒼士会は反対しました。



どうなるの西宮市立中央病院

今年の3月議会で、県立病院との統合について県の見解は「県立病院の建物については、建築後20年程度しか経過していないこと。県立病院全体の計画的な整備を行っている。財源確保や経営面で厳しい状況にある」と答弁していました。

わずか3か月で県の見解が大きく変わるとは思えません。

今後①市内の医療課題の洗い出し②課題の解決を図るための公立病院の役割③統合された病院がどのような医療を提供しどのような役割を果たすべきか必要な機能は何か④統合するまでの間の中央病院のあり方について検討・・・と検討課題ばかりでこの先どうなるか。見通しがありません。

保育料は引き下げを明言

市の保育料は、国基準を100として平均88・5%です。これは中核市42市のなかで一番高い額になっています。たとえば所得税額734,000円以上の世帯は3歳未満の保育料が月額98,800円になり、これは国基準の95%にもなりません。国基準の保育料があまりにも高いため、各市は一般財源を入れて保育料を引き上げています。他の中核市は、豊田市は47・6%、前橋市56・8%、豊中市66・8%です。これらと比べても市の保育料は高いです。市長は、「他市と比較しても高水準にあり引き下げるべき、2015年度からの引き下げに向けて検討する」と明確に答弁しました。

街づくり基本条例は必要

市長は公立学校の施設不足を取り上げ、運動場の児童1人当たりの面積は全国平均に比べて狭く、多くの小学校では、子どもたちがのびのびと活動できないことを指摘しています。この背景には、マンション等の無秩序な住宅開発の増加で、児童、生徒数が増加したことにあります。

小学校は児童急増で大変!

現在、小学校40校のうち19校で「受け入れ困難」「准受け入れ困難」「監視地区」「予測地区」等が適用されています。市長のマニフェストには「無秩序なマンション開発

などから西宮の住宅環境を守るための「まちづくり基本条例」を制定します。とあります。

市議団は子どもたちの教育環境や市民の住環境悪化を防ぐために緊急的にこのような条例が必要だと考えています。しかし、市長は「文教住宅都市宣言の精神に沿って西宮らしい住環境を保全することを目的に条例制定の可能性を検討する」と答弁しました。マニフェストよりトーンダウンしています。

